

# 第17回自治会館建設委員会議事録

日 時 2019年6月14日(金)19時30分~21時40分

## 1 第16回委員会以降の経過について

- ・5/18 農事センター跡地の草刈り 13人参加
- ・5/27 つくし野地域ふれあい基金運営委員会

## 2 つくし野地域ふれあい基金運営委員会結果について(鈴木委員長説明)

### (1)建設委員会への委員の派遣について

ふれあい委員会から建設委員会に鈴木委員長以外が参加してもらいたいという建設委員会からの要請については、「建設委員会委員とふれあい基金委員では、全く違う役割分担なので、一緒になって意見を言う立場ではない」と、ほとんど全員の意見があり、メンバー派遣は断ることとした。

### (2)建設資金への支出について

自治会館建設資金への支出については、4自治会からの要請があれば支出する。ふれあい基金は資金を預かっているだけだから4自治会の総会で承認され要請があれば、特別事業としての支出を提案する。(意見) ふれあい委員会と建設委員会の情報のやり取りは継続していった方がいい。

## 3 事業計画(案)作成について

7月までに「自治会館建設委員会の到達点と今後の取り組み」を基盤にしながら事業計画(案)を詰める。

### (1)会館設計構想

床面積は200㎡を超えない規模。つくし野センター第2会議室ぐらいの部屋必要。3つの会議室、基本的には1階建て。

### (2)システム構想

受付方法、管理運営をどうするかなど具体的にない。人件費を使わない方法を考える。近くの商店では鍵は預かってくれないので、キーボックスの活用が必要。人件費を抑えるためにネットでの予約方法を検討する必要がある(管理する人は必要になる)。運営委員会委員の粗々の構成も検討する必要がある。

### (3)各委員の意見

- ・住民の意向、需要はあるのか、収支バランスはどうか、運営主体、長期的運営見通し、自治会の負担、つくし野センターがあるのになぜ建てるのか根本的な話がまだ合意になっていない。
- ・赤字にならないように努力するが赤字になった時はどこがそれを負担するか。
- ・さくらんぼ会館のように経営努力で黒字にしているところもある。人件費を節約するためにボランティアに頼っている。
- ・関係する自治会が赤字を負担しているところが多くある。
- ・オープンスペースをつくる場合、鍵はどうするのか。4年生以上の学童保育の場という話もあるが、運営主体を決めないと住民の理解を得られない。
- ・自治会に人的な負担と経済的な負担をしたくないという意見が強い。
- ・部屋の一つをディサービスなど福祉関係の事業に貸すことはできないが、定期的利用は可能。
- ・人件費が使えないから鍵のキーボックスとインターネット申し込みを研究する必要がある。週一回の受付との併用も検討する。
- ・自治会の関与、負担、最悪でもこの程度の負担がかかるという額を出す。
- ・芙蓉園が拠点にするという事業は具体的に想像ができる。
- ・団体を探してつぶしていけないと需要はつかめない。団体アンケートを実施することも検討する。
- ・一定の負担を自治会にしてもらおうのを前提にするのかしないのか決めないと事業計画ができない。最悪このくらいの負担をとという言い方を打ち出すのか。貸出料金をどのくらいにするのか、利用率の想定をどのくらいにするのか。
- ・運営委員会委員をボランティアで集める(運営委員会はもともとボランティア、自治会から出してもらう。利用団体からも出してもらう)。運営委員会主催のイベントをやって収益を上げる。
- ・運営費が赤字になった場合、ふれあい資金で負担してもらえないか。それを提案できるのか。
- ・ふれあい委員会は預かっているだけだから自治会が望めばどうこう言うことはできない。建て替えや減価償却など、しっかり考えているのか。自治会がそういう方針に納得するかどうか。
- ・損益分岐点の計算をして一定のものを7月12日までにメール配信する。利用料金をどのくらいにするか(鶴養委員長)。

4 次回会合日程 : 7月12日(金) 17時半~ つくし野センター第1会議室

以上